

はじめに もくじ

はじめに もくじ	1
はじめに	2

1 章 パソコンの準備..... 13

1 使う前に確認する	14
2 Windows セットアップ.....	17
1 Windows 8.1 のセットアップ.....	18
2 Windows 7 のセットアップ.....	21
3 「東芝サービスステーション」について.....	27
3 Windows 8.1 の操作について.....	30
1 デスクトップ画面とスタート画面について	30
2 チャームの操作について.....	33
3 アプリケーション一覧からのアプリケーションの起動.....	35
4 Windows セットアップのあとは	36
5 リカバリーメディアを作る － TOSHIBA Recovery Media Creator －	38
6 前のパソコンのデータを移行する － PC 引越ナビ－	43
7 パソコンの動作状況を監視し、記録する － 東芝 PC ヘルスモニター	49
1 東芝 PC ヘルスモニタを起動する	50
2 冷却メッセージが表示された場合	51
8 画面にタッチして操作する	53

付 録

57

1 ご使用にあたってのお願い	58
-----------------------------	----

はじめに

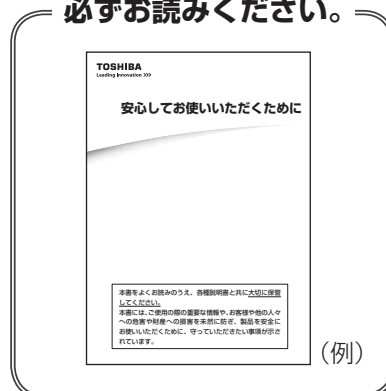
このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。

『安心してお使いいただくために』は、お読みになったあと、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

『パソコンで見るマニュアル』（本書）は、次の決まりに従って書かれています。

必ずお読みください。



1 記号の意味

 危険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（＊２）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊３）の発生が想定されること”を示します。
 お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
 メモ	知っているると便利な内容を示します。
 役立つ操作集	知っているると役に立つ操作を示します。
 参照	参照先を示します。 ● 表示中の編の内容を参照する場合…「 」 ● ほかの編やマニュアル、ヘルプを参照する場合…『 』

＊１ 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

＊２ 軽傷とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど（高温・低温）、感電などをさします。

＊３ 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

2 用語について

本書では、次のように定義します。

システム

特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows

Windows 8.1、Windows 8.1 ProまたはWindows 7 Professionalを示します。

Windows 8.1

Windows 8.1 またはWindows 8.1 Proを示します。

Windows 7

Windows 7 Professionalを示します（OSのダウングレードに対応しているモデルのみ）。

Microsoft IME

Microsoft Office IME 2013またはMicrosoft IMEを示します。

ドライブ

パソコン本体搭載のブルーレイディスクドライブ／DVDスーパーマルチドライブ（モデルによっては書き込み機能を禁止しています。）／DVD-ROM & CD-R/RW ドライブ／DVD-ROM ドライブを示します。

搭載しているドライブはモデルによって異なります。

ブルーレイディスクドライブ搭載モデル

ブルーレイディスクドライブを搭載しているモデルを示します。

DVDスーパーマルチドライブ搭載モデル

DVDスーパーマルチドライブを搭載しているモデルを示します。

DVD-ROM ドライブ搭載モデル

DVD-ROM ドライブを搭載しているモデルを示します。

ドライブ搭載モデル

ドライブを搭載しているモデルを示します。

HDD搭載モデル

HDD（ハードディスクドライブ）を搭載しているモデルを示します。

SSD搭載モデル

SSD（ソリッドステートドライブ）を搭載しているモデルを示します。

SSD

SSD搭載モデルには、補助記憶装置として、フラッシュメモリを記憶媒体とするドライブが搭載されています。SSD（ソリッドステートドライブ）とは、ハードディスクドライブの記憶媒体である磁気ディスクの代わりに、NANDフラッシュメモリを使用した大容量記憶媒体です。SSDの補助記憶装置としての機能は、ハードディスクドライブと同等です。

なお、SSD搭載モデルにおいて本書に「ハードディスク」と記載されている場合は、SSDを示します（「外付けハードディスクドライブ」は除く）。

WiMAX機能搭載モデル

WiMAX機能を搭載しているモデルを示します。

Bluetooth機能搭載モデル

Bluetooth機能を搭載しているモデルを示します。

指紋センサー搭載モデル

指紋センサーを搭載しているモデルを示します。

TPM搭載モデル

TPM機能を搭載しているモデルを示します。

Webカメラ搭載モデル

Webカメラを搭載しているモデルを示します。

時計用バッテリー内蔵モデル／時計用電池内蔵モデル

時計用バッテリーを内蔵しているモデル、または時計用電池を内蔵しているモデルを示します。時計用バッテリーと時計用電池では、仕様が異なります。

参照 お使いの機種種のモデル（時計用バッテリー／時計用電池）『基本編』

ExpressCardスロット搭載モデル

ExpressCardスロットを搭載しているモデルを示します。

PCカードスロット搭載モデル

PCカードスロットを搭載しているモデルを示します。

Office搭載モデル

Microsoft Office Personal 2013、またはMicrosoft Office Home and Business 2013をプレインストールしているモデルを示します。

タッチパネル搭載モデル

画面をタッチして操作できるモデルを示します。

ペン付属モデル

ペンが付属しているモデルを示します。

NFCポート搭載モデル

NFCポートを搭載しているモデルを示します。

無線通信機能搭載モデル

無線LAN機能、WiMAX機能、Bluetooth機能などの無線通信機能を搭載しているモデルを示します。

3 記載について

- 記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「****モデルの場合」や「****シリーズのみ」などのように注記します。
 - インターネット接続については、ブロードバンド接続を前提に説明しています。
 - アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは本体のハードディスクや付属のCD/DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
 - 本書では、コントロールパネルの操作方法について、表示方法を「カテゴリ」に設定していることを前提に説明しています。
- 画面右上の「表示方法」が「大きいアイコン」または「小さいアイコン」になっている場合は、「カテゴリ」に切り替えてから操作説明を確認してください。



(表示例)

- 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
 - 本書は、語尾をのばすカタカナ語の表記において、語尾に長音（ー）を適用しています。
- 画面の表示と異なる場合がありますが、読み替えてご使用ください。
- 本書では、付属のペン^{*1}による操作と、指で画面に触れる操作を、どちらも「タップ」や「スワイプ」などと表現しています。

* 1 ペン付属モデルのみ

4 操作の読み替えについて

* タッチパネル搭載モデルのみ

『パソコンで見るマニュアル』では、代表的な操作例として、タッチパッドやマウスを使った操作（「クリック」／「ダブルクリック」など）手順を記載していますが、モデルによっては、画面にタッチして操作することもできます。

タッチ操作を行う場合は、タッチパッドやマウスの操作の部分、次のように読み替えてください。

- クリック → タップ
 - ダブルクリック → ダブルタップ
 - 右クリック → 長押し（ロングタップ）
- アイコンなどの上に指を数秒置いて、はなします。

※ 一部例外があります。

参照 操作の詳細について「1章 8 画面にタッチして操作する」

5 Trademarks

本マニュアルで使用している各社の登録商標について記述します。

- Microsoft、Windows 及び Windows ロゴは、マイクロソフト企業グループの商標です。その他記載されている会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- Intel、インテル、Celeron、Intel Core は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- Blu-ray Disc™ (ブルーレイディスク)、Blu-ray™ (ブルーレイ)、BDXL™ 及び関連ロゴはブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- SD ロゴは商標です。()
- SDHC ロゴは商標です。()
- SDXC ロゴは商標です。()
- Fast Ethernet、Ethernet は富士ゼロックス株式会社の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標ならびに登録商標です。
- TRENDMICRO、ウイルスバスターおよびウイルスバスタークラウドは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/i-フィルターはデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- 「PC 引越ナビ」は、東芝パソコンシステム株式会社の商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の登録商標または商標です。
- Bluetooth は、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。
- WiMAX は、WiMAX フォーラムの商標です。

本マニュアルに掲載の商品の名称やロゴは、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

6 プロセッサ（CPU）に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ（CPU）の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- 周辺機器を接続して本製品を使用する場合
- ACアダプターを接続せずバッテリー駆動にて本製品を使用する場合
- マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
- 本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
- 複雑な造形に使用するソフト（たとえば、運用に高性能コンピューターが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト）を本製品上で使用する場合
- 気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
目安として、標高 1,000メートル（3,280 フィート）以上をお考えください。
- 目安として、気温 5～30℃（高所の場合 25℃）の範囲を超えるような外気温の状態では本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPUの処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。

また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。

これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常のプロtection機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するように、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。

本製品には64ビットプロセッサが搭載されております。64ビット版OSでご使用の場合は、32ビット版のデバイスドライバーやアプリケーションが正しく動作しない場合があります。

7 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作権および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作権者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

8 リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

■ Windows 8.1 の場合

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [はじめに] の [ リリース情報] をクリックする

■ Windows 7 の場合

- ① [スタート] ボタン () → [すべてのプログラム] → [はじめに] → [リリース情報] をクリックする

9 お願い

- 本体のハードディスクにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム (OS)、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- Windows 標準のシステムツールまたは本書に記載している手順以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 本体のハードディスクにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム (OS)、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品の画像データは、本製品上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
- お使いの環境によっては、スムーズに再生できない動画があります。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種 (型番) を確認後、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。
HDDパスワードを忘れてしまった場合は、ハードディスクは永久に使用できなくなりますので、有料にてハードディスクを交換します。
それ以外のパスワードの場合は、有料にてパスワードを解除します。その際、パスワードの種類によっては、お客様のデータが失われる場合があります。
またどちらの場合も、身分証明書 (お客様自身を確認できる物) の提示が必要となります。
- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワードの設定や、無線LANの暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。
セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社はいっさいの責任を負いません。
- 本製品のセキュリティロック・スロットおよび接続するセキュリティケーブルは盗難を抑止するためのものであり、万が一発生した盗難事故の被害について、当社はいっさいの責任を負いません。

- 「ウイルスバスター」を使用している場合、ウイルス定義ファイルなどは、新種のウイルスやワーム、スパイウェア、クラッキングなどからコンピューターを保護するためにも、常に最新の状態で使用する必要があります。本製品に用意されている「ウイルスバスター」は、インターネットに接続していると自動的に最新の状態に更新されますが、90日間の使用制限があります。90日を経過するとウイルスチェック機能を含めて、すべての機能がご使用できなくなります。

ウイルスチェックがまったく行われないう状態となりますので、必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを導入してください。

- ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。リカバリーを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。
- 『東芝保証書』は、記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本製品のお客様登録（ユーザー登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。当社ホームページで登録できます。

参照 ▶ お客様登録について『困ったときは』

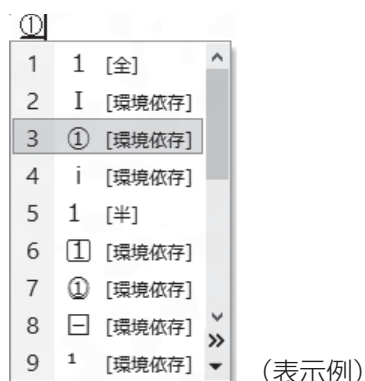
10 【ユーザーアカウント制御】 画面について

操作の途中で「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、そのメッセージを注意して読み、開始した操作の内容を確認してから、画面の指示に従って操作してください。

パスワードの入力を求められた場合は、管理者アカウントのパスワードで認証を行ってください。

11 環境依存文字について

環境依存文字とは、入力した文字を漢字へ変換するときに表示される候補の右側に「環境依存」などと表示されるものです。



- ユーザーアカウント名やフォルダー名に環境依存文字が含まれていると、ファイルの読み込みや保存などが正常に動作しないことがあります。
- コンピューター名に環境依存文字が含まれていると、アプリケーションが起動しないなど、正常に動作しないことがあります。
- ファイル名やファイル内の文字列に環境依存文字が含まれていると、ファイル名が「？」などのように正しく表示されず、正常に動作しないことがあります。
- アプリケーション上でファイルの編集集中に入力した文字列に環境依存文字が含まれていると、作成したファイル上で正しく表示されないことがあります。

このような場合には、環境依存文字を含まない文字列に変更してください。

CD/DVDなどの記録メディアにデータを書き込むときは、環境依存文字が含まれていないことをあらかじめ確認してから作業を行ってください。

12 電源を切った状態での操作について

一部の操作は、電源を切った状態で行うため、本マニュアルを参照しながら操作することはできません。

必要に応じて、本書の該当ページを印刷してから操作してください。

13 「Office」のライセンス認証について

* Office搭載モデルのみ

Office搭載モデルの場合、「Office」を使用するには、Windowsのセットアップ後にライセンス認証が必要です。

■ Windows 8.1 の場合

① スタート画面の [Microsoft Office] をクリックする

■ Windows 7 の場合

① [スタート] ボタン () → [すべてのプログラム] → [Microsoft Office] をクリックする

以降は、画面の指示に従ってください。

ライセンス認証にはプロダクトキーが必要です。

プロダクトキーは、付属の「Office」のパッケージを確認してください。

14 映像／音楽関連の機能を使用するにあたって

□ 映像を扱うアプリケーションについて

映像を扱うアプリケーションの使用中に、スリープ／休止状態への移行を行わないようにしてください。

エラーメッセージが表示されたり、アプリケーションが終了したりする場合があります。

その場合は、使用したいアプリケーションを再度起動してください。

15 H.264/AVC, VC-1 and MPEG-4 ライセンスについて

本製品は、AVC、VC-1、MPEG-4 VISUAL 規格特許ライセンスのもとで、個人的利用および非商業利用目的に限り、お客様が以下のいずれか、または両方の使用を行うことが許諾されています。(i) AVC、VC-1、MPEG-4 VISUAL 標準規格に従いビデオをエンコードすること（以下「AVCビデオ」、「VC-1ビデオ」、「MPEG-4ビデオ」という）、(ii) 個人的、非商業的行為においてお客様によりエンコードされた、または／およびAVCビデオ、VC-1ビデオ、MPEG-4ビデオを提供するためにMPEG LAからライセンスを受けたビデオ提供者から取得した、AVCビデオ、VC-1ビデオ、MPEG-4ビデオをデコードすること。ほかの使用についてはライセンスを許諾されていません。上記以外の販売、社内利用および商業的利用など利用／許諾に関する情報については、MPEG LAのHP (<http://www.mpegla.com>) より入手いただけます。

● H.264/AVC, VC-1 and MPEG-4 License Notice

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC, THE VC-1 AND MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i)ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE ABOVE STANDARDS ("VIDEO") AND/OR (ii)DECODING AVC, VC-1AND MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE SUCH VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA,L.L.C. SEE <http://www.mpegla.com>

1 章

パソコンの準備

本製品を使い始めるときのセットアップ方法、リカバリーメディアの作成方法などについて説明しています。

1	使う前に確認する	14
2	Windows セットアップ	17
3	Windows 8.1 の操作について	30
4	Windows セットアップのあとは.....	36
5	リカバリーメディアを作る － TOSHIBA Recovery Media Creator －	38
6	前のパソコンのデータを移行する － PC 引越ナビー	43
7	パソコンの動作状況を監視し、記録する － 東芝 PC ヘルスモニター.....	49
8	画面にタッチして操作する	53

使う前に確認する

1 箱を開けたらまずはこれから

『****（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照して、付属品がそろっているか、確認してください。足りない物がある場合や、破損している物がある場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

■ 型番と製造番号を確認

本製品の裏面などに型番と製造番号が記載されています。保証書に同じ番号が記載されていることを確認してください。番号が違ったり、不備があった場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

参照▶ 記載位置について『基本編』の「各部の名称」

2 忘れずに行ってください

■はじめに

ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。

■保証書は大切に保管

故障やトラブルが起こった場合、保証書があれば保証期間中（保証期間については保証書を確認してください）は東芝の無料修理サービスが受けられます。

保証書に記載の内容を読んで、確認したあと、大切に保管してください。

[illegible]

■海外保証を受けるには

*海外保証対象モデルのみ

海外で使用するときは「海外保証（制限付）」（ILW:International Limited Warranty）により、海外の所定の地域で、保証書に記載の無料修理規定および制限事項・注意事項の範囲内で修理サービスを利用できます。

ご購入のモデルが「海外保証（制限付）」の対象かどうかは、保証書を確認してください。

利用方法、保証の詳細は、『困ったときは 付録』の記載内容および保証書に記載の無料修理規定を読んで、確認してください。

3 最適な場所で使う

人間にとって住みやすい温度と湿度の環境が、パソコンにも最適な環境です。



次の点に注意して置き場所、使う場所を決めてください。

- 安定した場所に置きましょう。
不安定な場所に置くと、パソコンが落ちたり倒れたりするおそれがあり、故障やけがにつながります。
- 温度や湿度が高いところは避けましょう。
暖房や加湿器の送風が直接あたる場所はよくありません。
- 強い磁気を発するものの近くで使用しないでください。
磁石はもちろん、スピーカー、テレビの近くは磁気の影響を受けます。磁気ブレスレットなどもパソコンを使用するときにははずすようにしましょう。
- 照明や日光があたる位置も考慮しましょう。
照明や日光が直接ディスプレイにあたると、反射して画面が見づらくなります。
- ラジオやテレビの近くで使用しないでください。
ラジオやテレビの受信障害を引き起こすことがあります。
- 無線通信装置から離してください。
携帯電話も無線通信装置の一種です。
- パソコンの通風孔をふさがないように置きましょう。
通風孔はパソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。ふさぐと、パソコン本体内部が高温となるため、本来の性能を発揮できない原因や故障の原因となります。

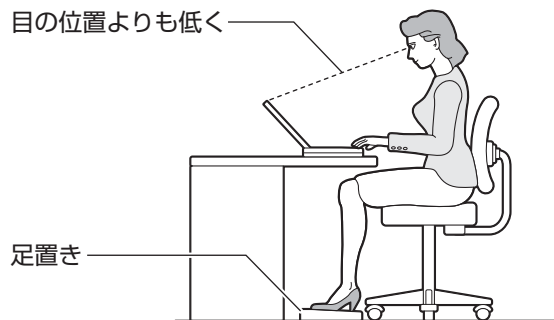
4 健康のために気をつけたいこと

- リラックスした姿勢で座る
肩や首が疲れないように、背中を楽にするために、椅子やマウスなどを正しい位置に置いてください。
- 適度に姿勢を変える
- 時々立ち上がってストレッチする
1日に何度も手首と首を動かしたりのばしたりしてください。
- 1時間を超えて連続した作業をしないようにする
1時間に10～15分程度の休憩時間をとってください。
- 作業時間内にも1～2分の小休止を1～2回とる
- 長時間使用して、身体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに使用をやめて休息する
長時間使い続けると、腕や手首が痛くなることがあります。万が一、休息しても不快感や痛みが取れない場合は、医師の診察を受けてください。

5 使用時の姿勢

*使用時の姿勢は、ノート型PCの例です。

- パソコン本体の正面に、適当な高さで距離をおいて座る
眼精疲労を避けるために、ディスプレイが目の高さより低くなるように調節してください。
- キーボードがひじよりも少し下にくるように椅子の高さを調節する
- おしりよりもひざが少し高くなるように座る
- 背筋が曲がらないように、椅子の背もたれを調節する
- ひざとひじはほぼ90度になるように、まっすぐ座る
前にかがんだり、背もたれによりかかったりしないでください。



初めて電源を入れたときは、Windowsのセットアップを行います。

Windowsのセットアップは、パソコンを使えるようにするために必要な操作です。

作業を始める前に、付属の冊子『安心してお使いいただくために』を必ず読んでください。特に電源コードやACアダプターの取り扱いについて、注意事項を守ってください。

お願い セットアップをするときの注意

■ 周辺機器は接続しないでください

- セットアップを開始する前に、パソコン本体に電源コードとACアダプター以外のものが接続されていないことを確認してください。
電源コードとACアダプター以外のものが接続されている場合は、パソコン本体の電源を切った状態であらかじめ取りはずしてください。
セットアップは電源コードとACアダプターのみを接続して行います。
セットアップが完了するまでは、プリンター、マウスなどの周辺機器は接続しないでください。

■ 途中で電源を切らないでください

- セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり、修理が必要となることがあります。

■ 操作は時間をあけないでください

- セットアップ中にキーボードの操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。
しばらくタッチパッドやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
もう一度表示するには、**[SHIFT]**キーを押すか、タッチパッドをさわってください。
[SHIFT]キーやタッチパッドでは復帰せず、Power  LEDが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

■ 無線通信機能がONであるか確認してください

* 無線通信機能搭載モデルのみ

- ワイヤレスコミュニケーションLED搭載モデルの場合は、Windows セットアップを始める前にワイヤレスコミュニケーションLEDが点灯していることを確認してください。

1 Windows 8.1 のセットアップ

1 章

パソコンの準備

* この操作は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。

リカバリー後に再度セットアップするときなどは、必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

* この操作は、『スタートアップガイド』でも説明しています。

電源コードとACアダプターを接続し、電源を入れてください。接続方法は『基本編』を参照してください。

パソコンが起動したら、セットアップ画面が表示されます。

1 Windows 8.1 のセットアップ

セットアップには約10～20分かかります。

1 Windowsと東芝のライセンス条項の内容を最後まで確認し、[同意します] をクリックする

[パーソナル設定] 画面が表示されます。

2 好きな色を選択する

Windows画面上の基本色を設定できます。表示されているバーの中から好みの色をクリックしてください。

色はあとから変更できます。

3 PC (コンピューター) 名を入力する

コンピューターに名前をつけるのは、使用するパソコンをほかのパソコンと区別するためです。必ず設定してください。

半角英数字で任意の文字列を入力してください。半角英数字以外は使用しないでください。

「|」（カーソル）が表示されている位置から文字の入力ができます。

同じネットワークに接続するコンピューターとは別の名前にしてください。

「dynabook」と入力するときは、キーボードで **D** **Y** **N** **A** **B** **O** **O** **K** と押します。

■ キーを押しても表示されないときは

キーを押しても文字が表示されない場合は、入力欄に「|」（カーソル）が点滅しながら表示されていることを確認してください。表示されている位置から文字を入力できます。表示されていないときは、[PC名] の下の欄をクリックしてください。

■ 入力を間違えたときは

入力を間違えたときは次の操作で文字を削除して、もう一度入力しましょう。

- カーソルの左側の文字を削除する **BACKSPACE** キーを押す
- カーソルの右側の文字を削除する **DEL** キーを押す

カーソルを左右に動かすには、**←** キーまたは **→** キーを押します。

4 [次へ] をクリックする

[オンラインに接続] 画面が表示された場合は、手順 **5** に進んでください。

[設定] 画面が表示された場合は、手順 **6** に進んでください。

5 無線LANの設定を省略するので、[この手順をスキップする] をクリックする

無線LAN機能を使ったネットワークへの接続は、セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略した場合について説明します。

[設定] 画面が表示されます。

6 [簡単設定を使う] をクリックする

パソコンを使用するうえでの基本的な設定は、セットアップ完了後に変更できるので、ここでは「簡単設定」を選択した場合について説明します。

[お使いのアカウント] 画面が表示されます。

7 ユーザー名を入力する

ユーザー名は、Windows を使用しているユーザーをパソコン側で識別するための名前です。

次の手順では、管理者ユーザーのユーザー名を登録します。必ず設定してください。

管理者ユーザーとは、ネットワークやパソコンを管理する権限を持つユーザーのことです。複数のユーザーで1台のパソコンを使用する場合、管理者ユーザーは、ほかのユーザーに対して使用制限の設定も行えます。

管理者以外のユーザーは、Windows のセットアップ後に登録できます。

[ユーザー名]と書いてある右の欄に、管理者ユーザーの名前を入力してください。ユーザー名は、半角英数字で入力してください。

■ ユーザー名に使えない文字列

ユーザー名を入力するとき、次の文字列を使用しないでください。

CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、@、(スペース)

8 パスワードを入力する

お願い

- パスワードを忘れると、Windows を起動するためには、「リカバリー」という、購入時の状態に戻す処理をするしか、方法がなくなってしまいます。その場合、購入後にパソコンに保存したデータやアプリケーションなどはすべて消失するので、パスワードは忘れないようにしてください。

パスワードとは、それを入力しないと次のステップに進めないようにできる、特定の文字列です。

ここでは、Windows を起動するときに入力しないと、Windows を起動できないようにするためのパスワードを設定します。これを「Windows パスワード」と呼びます。

「パスワード」と書いてある右の欄に、Windows パスワードとして設定したい文字を入力してください。

Windows パスワードは半角英数字で 127 文字まで設定できます。8 文字以上で設定することを推奨します。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。

Windows パスワードを入力しないでそのまま次の画面へ進むこともできますが、セキュリティ上、設定することを強くおすすめします。

入力した文字は「●●●●●●」で表示されるため、画面を見て確認することはできません。入力し間違えても画面ではわからないので、気をつけて入力してください。

9 パスワードをもう一度入力する

「パスワードの確認入力」と書いてある右の欄に、手順 **8** で入力した Windows パスワードを、もう一度入力してください。

10 パスワードのヒントを入力する

設定した Windows パスワードを忘れてしまったときのために、あらかじめヒントを設定しておく、パスワード入力画面で表示させることができます。

「パスワードのヒント」と書いてある右の欄に、それを読めば自分だけはパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。

11 [完了] をクリックする

12 パソコンの設定が準備される

Windows セットアップが終了すると、コンピューターがユーザーの設定を準備します。しばらくお待ちください。

ロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）が表示された場合は、**[SHIFT]** キーを押してください。次の画面に進みます。

パスワードを入力する画面が表示された場合は、パスワードを入力して **[ENTER]** キーを押してください。

Windows が起動します。



メモ

- しばらくタッチパッドやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
もう一度表示するには、**[SHIFT]** キーを押すか、タッチパッドをさわってください。
[SHIFT] キーやタッチパッドでは復帰せず、Power  LED が点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

2 Windows 7 のセットアップ

* この操作は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。

リカバリー後に再度セットアップするときなどは、必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

* この操作は、『スタートアップガイド』でも説明しています。

電源コードと AC アダプターを接続し、電源を入れてください。接続方法は『基本編』を参照してください。

パソコンが起動したら、OS のタイプを選択する画面または [Windows のセットアップ] 画面が表示されます。



メモ

- [Windows のセットアップ] 画面が表示されるまで、しばらく時間がかかります。また、モデルによっては必要なアプリケーションをインストールしているメッセージ画面が表示される場合がありますが、この間に絶対に電源を切らないようにしてください。
- Windows のセットアップが完了するまで、音量の調節はできません。

1 OSのタイプを選択する画面が表示された場合

* [Windowsのセットアップ] 画面が表示された場合は、次項「**2** Windows 7のセットアップ」に進んでください。

パソコンが起動し、OSのタイプを選択する画面が表示された場合は、Windows 7のOSのタイプ（32ビット版と64ビット版）を選択します。

使い慣れたソフトや周辺機器を活用できる32ビット版、対応しているアプリケーションを使えばより高いパフォーマンスを発揮できる64ビット版、それぞれ目的に応じて選択してください。

本製品には、あらかじめWindows 7 32ビット版がインストールされています。

Windows 7 64ビット版を選択した場合は、インストールが必要になりますので、セットアップ開始までに約2～2.5時間かかります。

1 インストールするOSタイプの左にある をクリックする

32ビット版のときは [Windows 7 32ビットバージョン] を、64ビット版のときは [Windows 7 64ビットバージョン] をクリックしてください。

 をクリックすると  になります。

2 [次へ] ボタンをクリックする

■ Windows 7 32ビット版を選択した場合

終了画面が表示されます。

[終了] ボタンをクリックし、続けて、次項「**2** Windows 7のセットアップ」に進んでください。

■ Windows 7 64ビット版を選択した場合

警告メッセージ画面が表示されます。

以降の手順は、「ハードディスクからパソコンを初期状態に戻す」手順を参照してください。

参照 ▶ ハードディスクからパソコンを初期状態に戻す『困ったときは』

2 Windows 7のセットアップ

セットアップには約10～20分かかります。

1

【国または地域】欄に「日本」と表示されていることを確認し、[次へ] ボタンをクリックする

ユーザー名とコンピューター名を入力する画面が表示されます。

ユーザー名は、Windows を使用しているユーザーをパソコン側で識別するための名前です。

次の手順では、管理者ユーザーのユーザー名を登録します。

管理者ユーザーとは、ネットワークやコンピューターを管理する権限を持つユーザーのことです。複数のユーザーで1台のパソコンを使用する場合、管理者ユーザーは、ほかのユーザーに対して使用制限の設定も行えます。

管理者以外のユーザーは、Windows のセットアップ後に登録できます。

2

ユーザー名を入力する

[ユーザー名を入力してください] と書いてある下の欄に、管理者ユーザーの名前を入力してください。

ユーザー名は、半角英数字で入力してください。

「dynabook」と入力するときは、キーボードで **D** **Y** **N** **A** **B** **O** **O** **K** と押します。

■ユーザー名に使えない文字列

ユーザー名を入力するとき、次の文字列を使用しないでください。

CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、
COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、
LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、@、(スペース)

■キーを押しても表示されないときは

キーを押しても文字が表示されない場合は、入力欄に「|」（カーソル）が点滅しながら表示されていることを確認してください。表示されている位置から文字を入力できます。表示されていないときは、[ユーザー名を入力してください] の下の欄をクリックしてください。

■入力を間違えたときは

入力を間違えたときは次の操作で文字を削除して、もう一度入力しましょう。

- カーソルの左側の文字を削除する **BACKSPACE** キーを押す
- カーソルの右側の文字を削除する **DEL** キーを押す

カーソルを左右に動かすには、**←** キーまたは **→** キーを押します。

1章

パソコンの準備

3 コンピューター名を入力する

コンピューターに名前をつけるのは、使用するパソコンをほかのパソコンと区別するためです。ネットワークに接続する場合は、必ず設定してください。

「コンピューター名を入力してください」と書いてある下の欄に、半角英数字で任意の文字列を入力してください。

半角英数字以外は使用しないでください。また、同じネットワークに接続するコンピューターとは別の名前にしてください。

4 「次へ」 ボタンをクリックする

「ユーザーアカウントのパスワードを設定します」画面が表示されます。

5 パスワードを入力する

お願い

- パスワードを忘れると、Windows を起動するためには、「リカバリー」という、購入時の状態に戻す処理をするしか、方法がなくなってしまいます。その場合、購入後にパソコンに保存したデータやアプリケーションなどはすべて消失するので、パスワードは忘れないようにしてください。

「パスワードを入力してください」と書いてある下の欄に、Windows ログオンパスワードとして設定したい文字を入力してください。

Windows ログオンパスワードは半角英数字で127文字まで設定できます。8文字以上で設定することをおすすめします。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。

Windows ログオンパスワードを入力しないでそのまま次の画面へ進むこともできますが、セキュリティ上、設定することを強くおすすめします。

入力した文字は「●●●●●●」で表示されるため、画面を見て確認することはできません。入力し間違えても画面ではわからないので、気をつけて入力してください。

6 パスワードをもう一度入力する

「パスワードをもう一度入力してください」と書いてある下の欄に、手順 **5** で入力したWindows ログオンパスワードを、もう一度入力してください。

7 パスワードのヒントを入力する

設定したWindows ログオンパスワードを忘れてしまったときのために、あらかじめヒントを設定しておく、パスワード入力画面で表示させることができます。

「パスワードのヒントの入力」と書いてある下の欄に、それを読めば自分だけはパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。

8 「次へ」 ボタンをクリックする

「ライセンス条項をお読みになってください」画面が表示されます。

9 Windows と東芝のライセンス条項の内容を最後まで確認し、それぞれの【ライセンス条項に同意します】の左にある□をクリックする

ライセンス条項に同意しないと、セットアップを続行することはできず、Windows やコンピューターを使用することはできません。

表示されている条項文の続きを表示するには、画面の右側にある ▼ ボタンをクリックします。

10 【次へ】 ボタンをクリックする

【コンピューターの保護と Windows の機能の向上が自動的に行われるように設定してください】 画面が表示されます。

11 【推奨設定を使用します】 をクリックする

【日付と時刻の設定を確認します】 画面が表示されます。

12 日付と時刻を確認する

コンピューターの内蔵時計の日付と時刻が合っているかどうか確認し、合っていない場合は、正しい内容に設定してください。

【タイムゾーン】 は、欄の右にある ▼ をクリックして、表示された地名から「大阪、札幌、東京」をクリックしてください。

年・月の左右にある ◀ または ▶ をクリックすると、月ごとに順に表示が切り替わります。

年・月を合わせてから、該当する日をクリックしてください。

時刻表示の右にある ▲ または ▼ をクリックすると、順に数字が切り替わります。変更したい時／分／秒をクリックしてから ▲ または ▼ をクリックしてください。

お願い

- 日付と時刻が合っていないと、本製品に用意されているウイルスチェックソフトなどの使用期限のあるアプリケーションでは、アプリケーションの設定後から適用される使用期限などが、正しく計測されないことがあります。そのため、この時点で、日付と時刻が合っていることを必ず確認してください。
- 日付と時刻は Windows セットアップ終了後に設定することもできます。

参照 ▶ 日付と時刻の設定『Windows ヘルプとサポート』

13 【次へ】 ボタンをクリックする

【ワイヤレスネットワークへの接続】 画面が表示された場合は、手順 **14** に進んでください。

【Windows で設定の最終処理を実行しています】 画面が表示された場合は、手順 **15** に進んでください。

14 無線LANの設定を省略するので、[スキップ] ボタンをクリックする

無線LAN機能を使ったネットワークへの接続は、セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略した場合について説明します。

15 ユーザーの設定が準備される

Windows セットアップが終了すると、コンピューター内にユーザーの設定が用意されます。

モデルによっては、作業を完了するためにシステムが再起動します。

しばらくお待ちください。

パスワード入力画面が表示された場合は、Windows ログオンパスワードを入力し、**[ENTER]** キーを押してください。

Windows が起動します。



メモ

- しばらくタッチパッドやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。もう一度表示するには、**[SHIFT]** キーを押すか、タッチパッドをさわってください。
[SHIFT] キーやタッチパッドでは復帰せず、Power  LED が点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。
- パソコンを起動するときに流れる Windows の起動音がまれに途切れる場合がありますが、故障ではありません。

3 「東芝サービスステーション」について

「東芝サービスステーション」は、ソフトウェアのアップデートや重要なお知らせを自動的に提供するためのソフトウェアです。以降の説明をお読みのうえ、「東芝サービスステーション」を使用して、本製品を最新の状態に保つことを強くおすすめします。

このソフトウェアは本製品の識別情報などを当社のサーバーへ送信します。

使用できるように設定する前に、詳しい内容を説明した使用許諾書が表示されますので、よくお読みください。



- 「東芝サービスステーション」を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。
- 「東芝サービスステーション」は、本製品に用意されているアプリケーション、ユーティリティ、ドライバやBIOSのうち、一部についてアップデートをお知らせします。東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」の「よくある質問（FAQ）」やウイルス・セキュリティ情報と「Microsoft Update」などをあわせてご利用ください。

インストール方法

「東芝サービスステーション」は、購入時の状態ではインストールされていません。次の手順でインストールしてください。

1 「アプリケーションの再インストール」を起動する

■ Windows 8.1 の場合

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [ アプリケーションの再インストール] をクリックする

■ Windows 7 の場合

- ① [スタート] ボタン () → [すべてのプログラム] → [アプリケーションの再インストール] をクリックする

2 [セットアップ画面へ] をクリックする

3 [ユーティリティ] タブをクリックする

4 画面左側の [TOSHIBA Service Station] または [東芝サービスステーション] をクリックし、[「TOSHIBA Service Station」のセットアップ] または [「東芝サービスステーション」のセットアップ] をクリックする

5 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

「XXXXXX（ファイル名）を実行または保存しますか？」または「このファイルを実行または保存しますか？」というメッセージが表示された場合は、[実行] ボタンをクリックしてください。

設定方法

「東芝サービスステーション」を使用できるように設定する方法は、次のとおりです。

1 章

パソコンの準備

■ Windows 8.1 の場合

1 スタート画面で、ポインターを動かす

2 画面左下の  をクリックする

3 [TOSHIBA] の [ Service Station] をクリックする

「東芝サービスステーション」が起動します。

初めて起動したときは、本ソフトウェアに関する詳しい説明（使用許諾書）が表示されます。

4 内容を確認し、[同意する] ボタンをクリックする

使用許諾書に同意すると、以降は、ソフトウェアのアップデートや当社からのお知らせを検出する機能が、パソコンを起動すると自動的に動作します。

■ Windows 7 の場合

1 [スタート] ボタン () → [すべてのプログラム] → [TOSHIBA] → [サポート&リカバリー] → [サービスステーション] をクリックする

「東芝サービスステーション」が起動します。

初めて起動したときは、本ソフトウェアに関する詳しい説明（使用許諾書）が表示されます。

2 内容を確認し、[同意する] ボタンをクリックする

使用許諾書に同意すると、以降は、ソフトウェアのアップデートや当社からのお知らせを検出する機能が、パソコンを起動すると自動的に動作します。

■ 使用方法

■ ソフトウェアのアップデートがある場合

本製品に用意されているアプリケーション、ユーティリティ、ドライバーやBIOSにアップデートがあることを検知すると、メッセージ「X件の新しいソフトウェアのアップデート（更新）があります。」が表示されます。

メッセージを確認し、画面の指示に従って操作してください。

■ 本製品に対するお知らせがある場合

本製品に対する当社からのお知らせが準備されたことを検出すると、メッセージ「X件の新しいお知らせがあります。」が表示されます。

メッセージを確認し、画面の指示に従って操作してください。

■ 手動で、ソフトウェアのアップデート、またはお知らせを確認したい場合

次の操作を行ってください。

● Windows 8.1 の場合

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [TOSHIBA] の [ Service Station] をクリックする
- ④ [すべてのアップデートを確認] をクリックする

● Windows 7 の場合

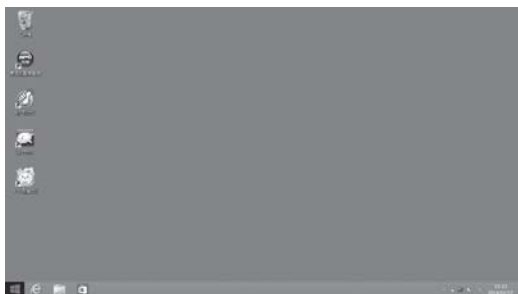
- ① [スタート] ボタン () → [すべてのプログラム] → [TOSHIBA] → [サポート&リカバリー] → [サービスステーション] をクリックする
- ② [すべてのアップデートを確認] をクリックする

ここでは、Windows 8.1 の操作について簡単に説明します。

1 デスクトップ画面とスタート画面について

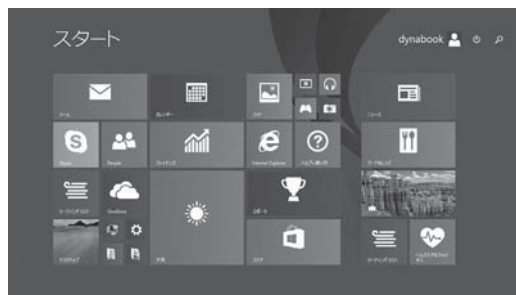
Windows 8.1 の画面構成やメニューの位置は、Windows 7などの従来のWindowsとは異なっています。従来のWindowsとWindows 8.1で大きく異なる点は、メイン画面が2種類（「デスクトップ画面」と「スタート画面」）あることです。

<デスクトップ画面>



(表示例)

<スタート画面>



(表示例)

デスクトップ画面とスタート画面の切り替えかたについて説明します。

1 デスクトップ画面からスタート画面に切り替える

1 [スタート] アイコンをクリックする



(表示例)

スタート画面が表示されます。



- スタート画面で起動しているアプリケーションや、デスクトップ画面を表示している状態で、キーボードの キーやパソコン本体の Windows ボタン () *1 を押しても、スタート画面を表示することができます。

* 1 Windows ボタン () 搭載モデルのみ

- パソコンを起動して最初に表示される画面*1 を、デスクトップ画面ではなく、スタート画面に変更できます。

* 1 Windows パスワードを設定している場合や、ほかのユーザーアカウントを登録している場合は、先に確認の画面が表示されます。

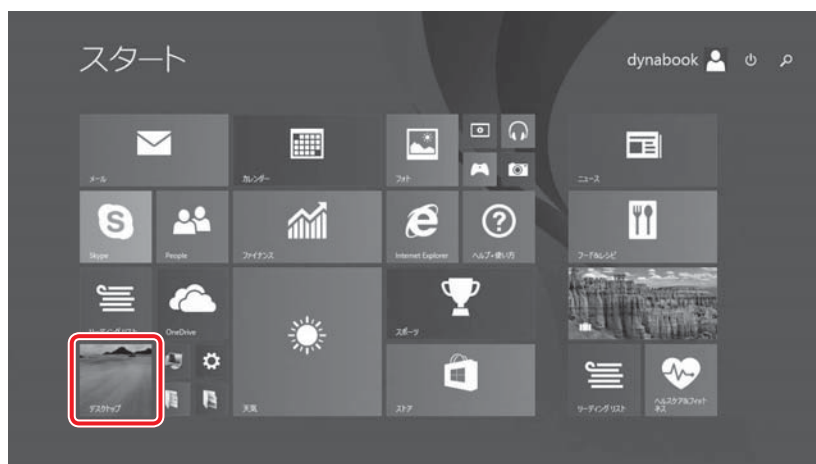
次の設定を行ってください。

- ① タスクバーを右クリックする
メニューが表示されます。
- ② [プロパティ] をクリックする
- ③ [ナビゲーション] タブをクリックし、[サインイン時または画面上のすべてのアプリを終了したときに、スタート画面ではなくデスクトップに移動する] のチェックをはずす
- ④ [OK] ボタンをクリックする

2 スタート画面からデスクトップ画面に切り替える

1 [デスクトップ] をクリックする

* [デスクトップ] アイコン (タイル) は、デスクトップ画面の壁紙によって表示されるアイコンが異なります。
またモデルや使用状況により、画面上での位置が異なる場合があります。



(表示例)

デスクトップ画面が表示されます。

3 スタート画面にタスクバーを表示する

1 ポインターをスタート画面の下端より、さらに下へ動かす タスクバーが表示されます。

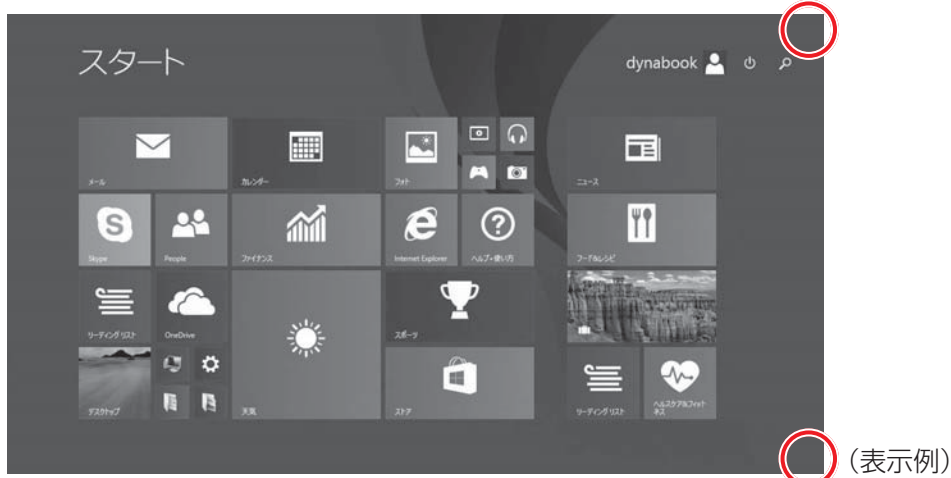


(表示例)

2 チャームの操作について

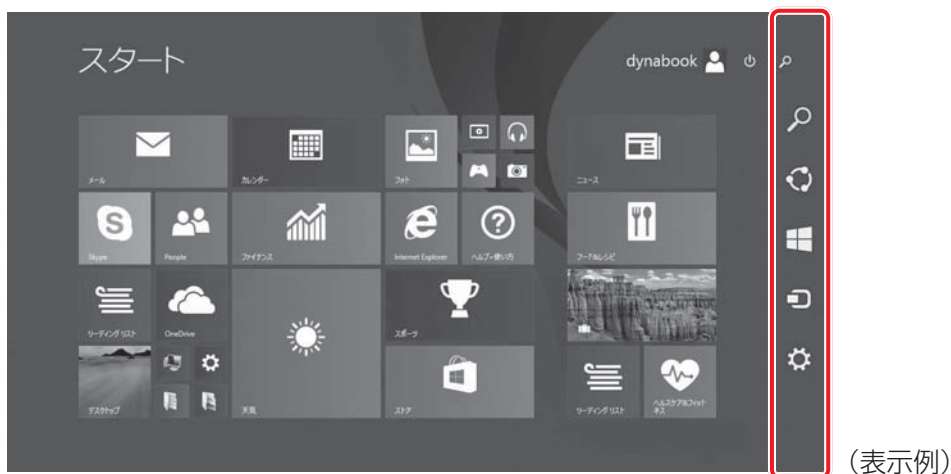
チャームは、デスクトップ画面／スタート画面に関係なく表示して操作できます。

1 ポインターを画面の上または下の右隅に合わせる



5つのメニューアイコンが表示されます。

2 目的の項目を選択する



 検索	本製品内のアプリケーション、ファイル、機能などを検索します。インターネット上の情報検索もできます。
 共有	共有するためのツールが用意されています。
 スタート	画面を切り替えます。
 デバイス	パソコンに接続している周辺機器を表示します。
 設定	設定メニューです。



役立つ操作集

* タッチパネル搭載モデルのみ

タッチ操作でチャームを表示する

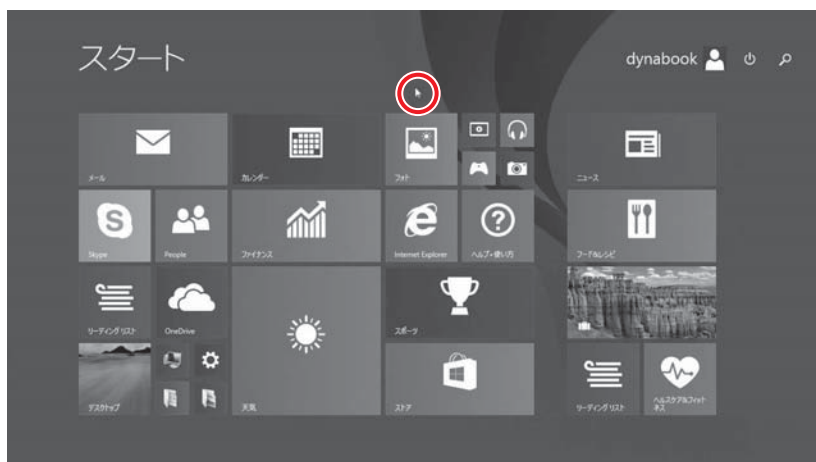
タッチ操作でチャームを表示する方法は、次のとおりです。

- ① 画面右端から左に向かって指でスワイプする
チャームが表示されます。

3 アプリケーション一覧からのアプリケーションの起動

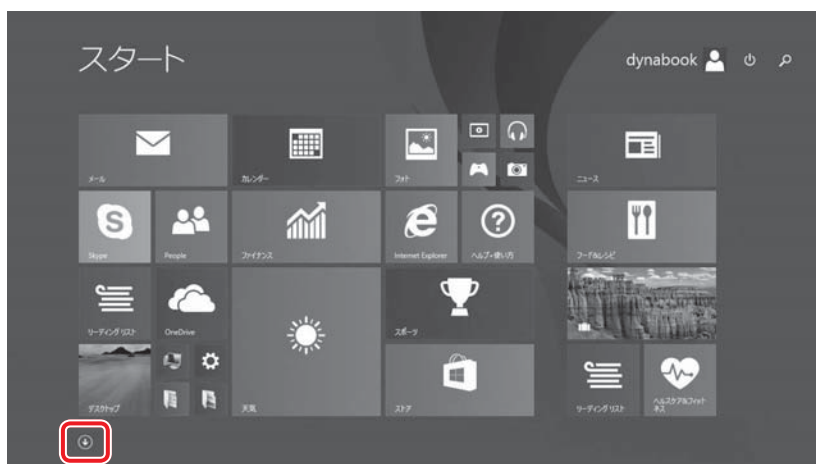
アプリケーション一覧からアプリケーションを起動する方法を説明します。

1 スタート画面で、ポインターを動かす



(表示例)

2 画面左下の [スタート] をクリックする



(表示例)

アプリケーション一覧が表示されます。

3 使用したいアプリケーションをクリックする



役立つ操作集

* タッチパネル搭載モデルのみ

タッチ操作で、アプリケーション一覧を表示する

タッチ操作でアプリケーション一覧を表示する方法は、次のとおりです。

- ① スタート画面で、画面中央から上に向かって指でスワイプする
アプリケーションの一覧が表示されます。

Windows セットアップ終了後の基本操作について、説明します。

日付と時刻の確認

日付と時刻は、通知領域に表示されています。

正しく設定されているかどうか確認してください。

正しく設定されていない場合は、日付と時刻を設定し直してください。

日付と時刻の設定については、Windows 8.1 の場合はスタート画面またはチャームの [検索] で検索し、Windows 7 の場合は『Windows ヘルプとサポート』を確認して設定してください。

Windows でわからない操作があったとき

■ Windows 8.1 の使いかた

Windows 8.1 の使い方について調べる方法には、次のようなものがあります。

- スタート画面やチャームの [検索] () を使って調べる
- スタート画面の「ヘルプ+使い方」 () から調べる
- 「ヘルプとサポート」 () から調べる
 - ① スタート画面で、ポインターを動かす
 - ② 画面左下の  をクリックする
 - ③ [Windows システムツール] の [ ヘルプとサポート] をクリックする

■ Windows 7 の使いかた

[スタート] ボタン () → [ヘルプとサポート] をクリックして、『Windows ヘルプとサポート』を参照してください。

■ Windows について

Windows の最新情報は次のホームページから確認できます。

URL : <http://www.microsoft.com/>

Windows を最新の状態にする

「Windows Update」で更新プログラムをインストールしてください。

「Windows Update」については、Windows 8.1 の場合はスタート画面またはチャームの [検索] で検索し、Windows 7 の場合は『Windows ヘルプとサポート』を確認して設定してください。

リカバリーメディアの作成

リカバリーメディアを作成しておくことを強くおすすめします。リカバリーメディアとは、システムやアプリケーションをご購入時の状態に復元（リカバリー）するためのものです。

参照 ▶ リカバリーメディアについて「本章 5 リカバリーメディアを作る」

なお、リカバリーメディアを使って実際にリカバリーを行うときは、操作の流れをよくご確認ください。

参照 ▶ リカバリーについて『困ったときは』

バックアップをとる

作成したファイルを誤って削除してしまったり、突然のパソコンのトラブルによって保存したファイルが使えなくなってしまうことがあります。

このような場合に備えて、あらかじめファイルをDVD-RやUSB フラッシュメモリなどの記録メディアにコピーしておくことをバックアップといいます。

一度なくしたデータを復旧することはできません。

万が一のために、必ず定期的にバックアップをとりましょう。

* ドライブを搭載していないモデルで、CD/DVD/ブルーレイディスクにバックアップをとる場合、外付けの書き込み可能なCD/DVD/ブルーレイディスクドライブ（市販品）が必要です。

ただし、すべての外付けCD/DVD/ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。

参照 ▶ 「付録 1 - 2 バックアップについて」

ドメイン参加について

企業内など、ある1つにまとめたネットワークをドメインと呼びます。

Windows 8.1 ProまたはWindows 7 Professionalの場合のみ、ドメインに参加できます。

ドメインのユーザー名やパスワードなどの詳しい設定方法は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- * TOSHIBA Recovery Media Creator 搭載モデルのみ
- * ブルーレイディスクは、Windows 8.1 のみ
- * ブルーレイディスクは、ブルーレイディスクドライブ搭載モデルのみ

パソコンにトラブルが発生したときに、パソコンを購入時の状態（初期状態）に戻すことを「リカバリー」といいます。

参照 リカバリーの詳細『困ったときは』

本製品のハードディスクには、システムやアプリケーションを購入時の状態に戻すためのリカバリーツールが搭載されています。

しかし、トラブルの原因によっては肝心のリカバリーツールを起動できないおそれもあります。

このような場合に備え、リカバリーDVD-ROMが付属していない場合は、あらかじめリカバリーツールをDVDなどの記録メディアにコピーしておくこと（リカバリーメディアの作成）をおすすめします。

ハードディスクからリカバリーができない場合でも、リカバリーメディアからリカバリーができます。

リカバリーメディアの作成は、「トウシバ リカバリー メディア クリエイターTOSHIBA Recovery Media Creator」で行います。
作成したリカバリーメディアは大切に保管してください。



メモ

- リカバリーメディアを作成しておらず、ハードディスクからもリカバリーが行えない場合は、修理が必要になることがあります。
東芝PCあんしんサポートに相談してください。

参照 東芝PCあんしんサポートについて『困ったときは』

■リカバリーを行うと

リカバリーをすると、ハードディスク内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、WindowsパスワードまたはWindowsログオンパスワードなど）も購入時の状態に戻る、つまり何も設定していない状態になります。

また、データのバックアップについては、普段から定期的に行っておくことをおすすめします。

1 リカバリーメディアに使用できる記録メディア

「TOSHIBA Recovery Media Creator」では、次の記録メディアのいずれかを使用できます。何もデータが書き込まれていないものを用意してください。

- USB フラッシュメモリ
- 記録用のブルーレイディスクメディア*1*2*3
(BD-R、BD-R DL、BD-RE、BD-RE DL)
- 記録用のDVDメディア*3
(DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、DVD+R、DVD+R DL、DVD+RW)

*1 Windows 8.1 のみ

*2 ブルーレイディスクドライブ搭載モデルのみ

*3 ドライブを搭載していないモデルの場合は、外付けの書き込み可能なDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を接続すると、DVD／ブルーレイディスクを使用できます。
ただし、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。

必要な記録メディアの枚数や容量は「TOSHIBA Recovery Media Creator」画面に表示されます。

DVD／ブルーレイディスクの場合は、必要な枚数が表示されます。複数枚使用するときには、同じ規格の記録メディアで統一してください。

USB フラッシュメモリの場合は、リカバリーメディアの作成に最低限必要な容量が表示されます。表示される容量より大きい容量のUSB フラッシュメモリを用意してください。

お願い DVD／ブルーレイディスクについてと使用推奨メーカー

- 推奨するメーカーのDVD／ブルーレイディスクを使用してください。規格に準拠したDVD／ブルーレイディスクを使用してください。

参照 使用できるDVD／ブルーレイディスク記録メディア『活用編』

参照 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を使用する場合
『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

お願い リカバリーメディアの作成にあたって

- 「TOSHIBA Recovery Media Creator」ではDVD-RAM、BD-R TL、BD-RE TLを使用できません。
- 「TOSHIBA Recovery Media Creator」を使ってリカバリーメディアを作成するときは、ほかのアプリケーションソフトをすべて終了させてから、行ってください。
また、電源コードとACアダプターを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続した状態で作成してください。本製品の省電力機能が働かないようにしてください。電源OFF／スリープ／休止状態／再起動を実行しないでください。
- あらかじめ、DVD／ブルーレイディスク使用上の注意事項やUSB フラッシュメモリ使用上のご注意を確認してください。

参照 DVD、ブルーレイディスク、USB フラッシュメモリ使用上のご注意『活用編』

2 インストール方法

「TOSHIBA Recovery Media Creator」は、購入時の状態ではインストールされていません。次の手順でインストールしてください。

1 章

パソコンの準備

1 「アプリケーションの再インストール」を起動する

■ Windows 8.1 の場合

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [ アプリケーションの再インストール] をクリックする

■ Windows 7 の場合

- ① [スタート] ボタン () → [すべてのプログラム] → [アプリケーションの再インストール] をクリックする

2 [セットアップ画面へ] をクリックする

3 [ユーティリティ] タブをクリックする

4 画面左側の [TOSHIBA Recovery Media Creator] をクリックし、 [「TOSHIBA Recovery Media Creator」のセットアップ] をクリックする

5 画面の指示に従ってインストールする

「XXXX（ファイル名）を実行または保存しますか？」または「このファイルを実行または保存しますか？」というメッセージが表示された場合は、[実行] ボタンをクリックしてください。

3 リカバリーメディアを作成する

外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）でDVD／ブルーレイディスクのリカバリーメディアを作成する場合は、あらかじめDVD／ブルーレイディスクドライブをパソコン本体に接続しておいてください。

参照 接続方法『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

1 「リカバリーメディア作成ツール」を起動する

■ Windows 8.1 の場合

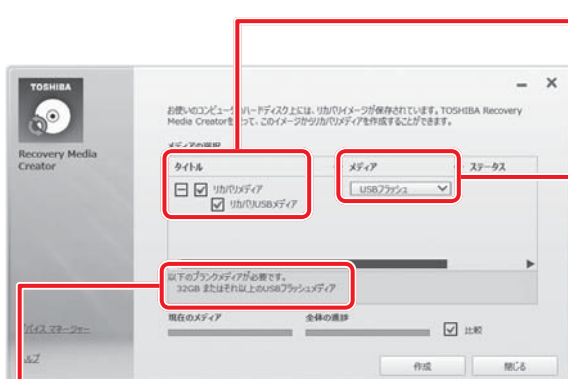
- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [TOSHIBA] の [ リカバリーメディア作成ツール] をクリックする

■ Windows 7 の場合

- ① [スタート] ボタン () → [すべてのプログラム] → [TOSHIBA] → [サポート & リカバリー] → [リカバリーメディア作成ツール] をクリックする

2 [タイトル]、[メディア] または [メディア構成] を選択する

必要なDVD／ブルーレイディスクの枚数やUSBフラッシュメモリの容量が表示されるので、用意してください。



(Windows 8.1 の場合の表示例)

[タイトル]

チェックボックスにチェックがついている (☒) リカバリーメディアを作成します。

 をクリックすると作成するリカバリーメディアの一覧が表示されます。

作成する必要のないリカバリーメディアは、チェックをはずしてください。

[メディア] または [メディア構成]

作成する記録メディアの種類を選択します。

DVD／ブルーレイディスクの場合、画面に表示される枚数分が必要になります。

USBフラッシュメモリの場合、画面に表示される容量が必要になります。

3 [作成] ボタンをクリックする

作成するリカバリーメディアの確認と記録メディアのセットを求める画面が表示されます。

4 DVD、ブルーレイディスク、USBフラッシュメモリのいずれかをセットする

参照 DVD／ブルーレイディスクのセット

『活用編』、『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

参照 USBフラッシュメモリのセット『活用編』

5 以降は、画面の指示に従って操作する

作成が開始されると、画面に、作成しているリカバリーメディアの進捗状況が表示されます。

作成を途中で中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

DVD／ブルーレイディスクの場合、作成が終了すると、記録メディアが自動的に出てきます。

作成するメディアが複数枚ある場合は、メッセージに従って記録メディアを入れ替えてください。

作成したリカバリーメディアには、次のことがわかるように目印をつけてください。

- 「リカバリーメディア」であること
- 複数枚ある場合は、番号

たとえばDVD／ブルーレイディスクの場合、「リカバリーメディアXX（番号）」というように、レーベル面に油性のフェルトペンなどで記載してください。リカバリーをするとき、この番号の順にリカバリーメディアを使用しないと、正しくリカバリーされません。必ずリカバリーメディア番号がわかるようにして保管してください。

参照 リカバリーメディアからリカバリーをする操作手順『困ったときは』

「TOSHIBA Recovery Media Creator」の詳細は、ヘルプを参照してください。

ヘルプの起動方法

1 「TOSHIBA Recovery Media Creator」を起動後、[ヘルプ] をクリックする

* PC引越ナビ搭載モデルのみ

パソコンを買い替えた場合、これまで使用していたパソコンと同じ環境で使用するためには、設定やデータの移行といった準備が必要です。

「PC引越ナビ」は、移行するデータや設定を一つにまとめ、新しいパソコンへ移行するためのアプリケーションです。面倒な移行の手間を簡略化できます。

本節では、移行元のパソコンを「前のパソコン」、移行先のパソコンを「新しいパソコン」として説明します。

環境を確認する

■ 前のパソコンの動作環境を確認する

「PC引越ナビ」は、次のシステムに対応しています。

新しいパソコンのOS	Windows 8.1 の場合	Windows 7 の場合
前のパソコンのOS * 1	● Windows XP ● Windows Vista ● Windows 7 ● Windows 8 ● Windows 8.1	● Windows XP ● Windows Vista ● Windows 7

* 1 マイクロソフト社が提供している最新の Service Pack を適用してください。また、「Internet Explorer」のバージョンが「6 SP1」以上であることを確認してください。それ以下のバージョンの場合は、「6 SP1」を適用してください。

システムの正式名称は次のとおりです。

Windows XP..... Windows XP operating system 日本語版の全エディション
 Windows Vista..... Windows Vista の全エディション
 Windows 7..... Windows 7 の全エディション
 Windows 8..... Windows 8 の全エディション
 Windows 8.1 Windows 8.1 の全エディション

お願い 前のパソコンの動作環境について

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「付録 1 - 3 「PC引越ナビ」について」

■ 移行の方法を確認する

設定・データの移行には、次の方法があります。

- USB フラッシュメモリを使用する
- USB フラッシュメモリとネットワーク（有線LAN）を使用する^{*1}
- USB フラッシュメモリとクロスケーブル（有線LAN）を使用する^{*1*2}
- USB フラッシュメモリとブルーレイディスク、またはUSB フラッシュメモリとDVDを使用する^{*3}
 - *1 LANコネクタ搭載モデルでのみ、使用できます。
 - *2 「前のパソコン」と「新しいパソコン」が東芝製のGigabit Ethernet（1000BASE-T）搭載モデルの場合、クロスケーブルの代わりにLANケーブルも使用できます。
LANケーブルは、エンハnstカテゴリ5（CAT5e）以上のケーブルを使用してください。
 - *3 ドライブを搭載していないモデルの場合、外付けの書き込み可能なDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を接続して使用できます。
ただし、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。

前のパソコンと、新しいパソコンの仕様を確認し、共通して使用できる方法のなかから、移行する設定・データの容量に適した方法を選んでください。

前のパソコンでどの方法が使用できるかを確認し、USBフラッシュメモリやネットワーク用のケーブル、ブルーレイディスクまたはDVDが必要な場合は購入してください。また、フォーマットが必要なUSBフラッシュメモリは、あらかじめフォーマットしてください。

- USBフラッシュメモリのみで移行する場合は、512MB以上の容量が必要です。
移行するファイルや設定内容に比べて、USBフラッシュメモリの容量が小さいと、数回に分けてデータをコピーすることになりますので、大容量のUSBフラッシュメモリを移行用に使用することをおすすめします。
- USBフラッシュメモリの代わりに、メディアカードを使用することもできます。

参照▶ 本製品で利用できるメディアカードについて『活用編』

移行できる設定とデータ

「PC引越ナビ」を起動したときの、ユーザーの設定とデータを移行できます。

- **Internet Explorer の設定**^{*1}
- **Windows Live メール の設定**^{*2*4}
 - ・新しいパソコンが Windows 8.1 の場合
Windows Live メール (Windows メールまたは Windows 8 および Windows 8.1 のメール機能、Outlook Express) の設定
 - ・新しいパソコンが Windows 7 の場合
Windows Live メール (Windows メール、Outlook Express) の設定
- **Microsoft Outlook の設定**^{*3*4}
- **【ドキュメント】(または【マイドキュメント】) フォルダーに保存されているファイル**
- **デスクトップ上のファイル**
- **任意のフォルダーに含まれるファイル**

*1 Microsoft Internet Explorer 6 SP1 以上

*2 移行できるデータは、「Microsoft Outlook Express (バージョンが 6.0 SP1 以上)」、「Windows メール」、「Windows Live メール」のデータです。

*3 移行できるデータは、「Microsoft Outlook 2000」以降のデータです。

本製品には、Office 搭載モデルにのみ、「Microsoft Outlook」が付属およびインストールされています。前のパソコンに保存されている「Microsoft Outlook」のデータを Office が搭載されていないモデルに移行したいときは、「PC引越ナビ」をご使用の前に、市販の「Microsoft Outlook」を新しいパソコンにインストールする必要があります。

移行するためには、「Microsoft Outlook 2003」以降の「Microsoft Outlook」をインストールしてください。

*4 新しいパソコンにメールソフトがインストールされていない場合でも、「PC引越ナビ」はパソコンにデータを保存します。

「Windows Live メール」および「Microsoft Outlook」は起動したときに、保存したデータのインポート(取り込み)を行います。

メールソフトによっては、違うソフトのデータを変換して取り込むことができます。

詳しくは、メールソフトのヘルプを確認してください。



メモ

- 移行できる設定やデータの詳細は、「PC引越ナビ」のヘルプで確認してください。

1 操作の流れ

設定とデータの移行は、画面の指示に従って行います。移行する設定・データや使用する移行方法などで操作の詳細は異なりますが、大まかな流れは次のとおりです。

新しいパソコンと前のパソコンとで交互に作業を行いますので、近くに設置して行うとよいでしょう。

1章 パソコンの準備

移行方法を決める

いくつかある移行方法のなかから、前のパソコンと新しいパソコンの仕様や、移行するデータの容量を元に移行方法を選択します。

新しいパソコン

USBメモリ



ネットワーク (有線LAN)*1
クロスケーブル (有線LAN)*1*2
ブルーレイディスクまたはDVD

「こん包プログラム」をコピーする

「こん包プログラム」は複数のファイルを1つにまとめるプログラムです。
USBフラッシュメモリにコピーしてください。

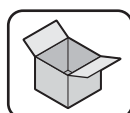
新しいパソコン



USBメモリ

「こん包プログラム」を実行する

コピーした「こん包プログラム」を前のパソコンで実行し、移行する複数のデータを1つのファイル(「こん包ファイル」)にまとめます。



USBメモリ



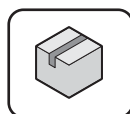
前のパソコン



作成

「こん包ファイル」をコピーする

作成した「こん包ファイル」をコピーします。
移行するデータの容量によっては、「こん包ファイル」は複数作成されます。すべての「こん包ファイル」をコピーしてください。



USBメモリ

前のパソコン



ネットワーク (有線LAN)*1
クロスケーブル (有線LAN)*1*2
ブルーレイディスクまたはDVD

* 1 LANコネクタ搭載モデルのみ

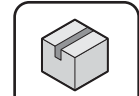
* 2 「前のパソコン」と「新しいパソコン」が東芝製のGigabit Ethernet (1000BASE-T) 搭載モデルの場合、クロスケーブルの代わりにLANケーブルも使用できます。

LANケーブルは、エンハンストカテゴリ5 (CAT5e) 以上のケーブルを使用してください。

「こん包ファイル」を開こんする

コピーした「こん包ファイル」を新しいパソコンで開き、コピーします。

新しいパソコン



実行

USBメモリ

2 インストール方法

「PC引越ナビ」は、購入時の状態ではインストールされていません。
次の手順でインストールしてください。

1 「アプリケーションの再インストール」を起動する**■ Windows 8.1 の場合**

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [ アプリケーションの再インストール] をクリックする

■ Windows 7 の場合

- ① [スタート] ボタン () → [すべてのプログラム] → [アプリケーションの再インストール] をクリックする

2 [セットアップ画面へ] をクリックする**3 [アプリケーション] タブをクリックする****4 画面左側の [PC引越ナビ] をクリックし、[「PC引越ナビ」のセットアップ] をクリックする****5 画面の指示に従ってインストールする**

「XXXX（ファイル名）を実行または保存しますか？」または「このファイルを実行または保存しますか？」というメッセージが表示された場合は、[実行] ボタンをクリックしてください。

3 起動方法

1 章

パソコンの準備

1 「PC引越ナビ」を起動する

■ Windows 8.1 の場合

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [ PC引越ナビ] をクリックする

■ Windows 7 の場合

- ① デスクトップ上の [PC引越ナビ] () をダブルクリックする
[スタート] ボタン () → [すべてのプログラム] → [PC引越ナビ] をクリックして起動することもできます。

2 画面下の ボタンをクリックし、注意制限事項を確認する

「PC引越ナビ」のヘルプが表示されます。

「PC引越ナビ」の注意制限事項をお読みください。

目次で [注意制限事項とメッセージ] をクリックし、画面右側に表示される各項目をよくお読みください。

3 [同意する] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする

使用許諾契約に同意しないと、「PC引越ナビ」を使用することはできません。

注意事項が表示されます。内容を確認し、[次へ] ボタンをクリックしてください。

引き続き、説明画面が表示されますので、内容を確認しながら、操作してください。

* 東芝PCヘルスマニター搭載モデルのみ

「東芝PCヘルスマニター」は、消費電力や冷却システムなどを監視し、システムの状態をメッセージなどでお知らせします。また、パソコン本体および各種デバイスの使用状況を、収集管理します。

「東芝PCヘルスマニター」の機能は、ヘルプで確認できます。

お願い

- 「東芝PCヘルスマニター」は、いかなる場合も東芝の標準的な保証の範囲を広げるものでも変更するものでもありません。東芝の標準的な保証が適用されます。

メモ

- 収集管理されるパソコン本体や各種デバイスの情報、および使用状況の情報は、パソコン本体のハードディスクドライブまたはSSDに保存されます。これらの情報には以下の内容が含まれます（モデルによって内容は異なります）。

PCの基本情報	モデル名、型番、製造番号、BIOSバージョンなど
各種デバイスの基本情報	ディスプレイ、サウンド、ネットワーク、ハードディスクドライブ* ¹ 、SSD* ¹ 、ドライブ* ¹ など
オペレーティングシステム情報	OSバージョン、OSをインストールした日時、Direct Xのバージョン、Internet Explorerのバージョン、修正プログラムのリストなど
各種デバイスの操作時間／回数	電源スイッチ、キーコンビネーション、ACアダプター、バッテリーパック* ¹ 、ディスプレイ、ファン* ¹ 、ハードディスクドライブ* ¹ 、SSD* ¹ 、USBコネクタなど
パソコンの使用開始日付	—
パソコン本体や各種デバイスの使用状況	省電力設定、バッテリーパック* ¹ の温度や放充電容量、CPU、メモリ、バックライトの点灯時間、各種デバイスの温度など

* 1 搭載モデルでのみ情報が保存されます。

ハードディスクドライブまたはSSDに保存されるデータの量は1年間で10MB以下であり、ハードディスクドライブまたはSSDの全体容量のわずかしか使用しません。

- これらの情報は、システム状態の監視と通知、および、パソコンが東芝PCあんしんサポートに持ち込まれたときの不具合の診断に使用します。また、東芝はそれらの情報を品質保証適用の判断に使用することもあります。
- 「東芝PCヘルスマニター」は、一度有効にした場合でも、「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」からアンインストールすることで、本機能を動作しないようにすることができます。その際、ハードディスクドライブまたはSSDに記録されている「東芝PCヘルスマニター」が採取したデータは自動的に削除されます。

1 東芝PCヘルスマニタを起動する

ここでは、「東芝PCヘルスマニタ」の起動方法について説明します。

1 章

パソコンの準備

Windows 8.1 の場合

- 1 スタート画面で、ポインターを動かす
- 2 画面左下の  をクリックする
- 3 [TOSHIBA] の [ PCヘルスマニタ] をクリックする
[東芝PCヘルスマニタ] 画面が表示されます。

Windows 7 の場合

- 1 [スタート] ボタン () → [すべてのプログラム] → [TOSHIBA] → [サポート&リカバリー] → [PCヘルスマニタ] をクリックする
[東芝PCヘルスマニタ] 画面が表示されます。

パソコンの機能の監視と使用状況の情報収集管理を開始します。システムの状態は表示される画面で確認できます。

不調の原因となりうる変化が検出された場合、メッセージが表示されます。メッセージの内容に従って操作してください。

また、冷却メッセージが表示された場合には、次の説明を確認してください。

参照 「本節 2 冷却メッセージが表示された場合」

メモ

- 「東芝PCヘルスマニタ」の画面を閉じて、パソコンの機能の監視と使用状況の情報収集管理は続行されます。この場合、不調の原因となりうる変化が検出されたときは、通知領域の [東芝PCヘルスマニタ] アイコン () からメッセージが表示されます。

「東芝PCヘルスマニタ」の詳細は、ヘルプを参照してください。

ヘルプの起動方法

- 1 通知領域の [東芝PCヘルスマニタ] アイコン () を右クリックし、表示されたメニューから [ヘルプ] をクリックする

* 通知領域にアイコンが表示されていない場合は、 をクリックしてください。

2 冷却メッセージが表示された場合

不調の原因となりうる変化が検出された場合、冷却メッセージが表示されることがあります。メッセージの内容に従って操作してください。

次のメッセージが表示された場合は、「東芝冷却診断（東芝冷却性能診断ツール）」を実行してください。

「PCの冷却性能が低下している可能性があります。冷却診断を実行してください。」

「東芝冷却診断（東芝冷却性能診断ツール）」を実行する

1 メッセージ画面で【OK】ボタンをクリックする

「東芝冷却診断（東芝冷却性能診断ツール）」が起動します。

2 電源コードとACアダプターを接続していない場合は接続し、実行中のすべてのアプリケーションを終了する

3 画面の指示に従って操作する

診断の結果、次のメッセージが表示された場合は、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

「PCの冷却性能が低下している可能性があります。安心してお使いいただくために、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。」

一時的に使用される場合は、省電力の設定を変更することをおすすめします。

省電力の設定を変更する

1 章

パソコンの準備

1 「コントロールパネル」を起動する

■ Windows 8.1 の場合

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [Windows システムツール] の [ コントロールパネル] をクリックする

■ Windows 7 の場合

- ① [スタート] ボタン () → [コントロールパネル] をクリックする

2 [システムとセキュリティ] → [電源オプション] をクリックし、選択している電源プランの [プラン設定の変更] をクリックする

3 [詳細な電源設定の変更] をクリックする

[詳細設定] 画面が表示されます。

4 [東芝省電力設定] をダブルクリックし、表示される項目の [熱制御の設定] をダブルクリックする

5 [バッテリー駆動] と [電源に接続] で、それぞれ [CPU 速度低下を優先] を選択する

6 [OK] をクリックする

東芝冷却診断は、いかなる場合も東芝の標準的な保証の範囲を広げるものでも変更するものでもありません。東芝の標準的な保証が適用されます。

* タッチパネル搭載モデルのみ

タッチパネル搭載モデルでは、画面の表面を指でタッチすることによって、さまざまな操作を行うことができます。

ここでは、指を使った基本的な操作を説明します。

お願い タッチ操作について

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照▶「付録 1 - 1 - 画面のタッチ操作にあたって」

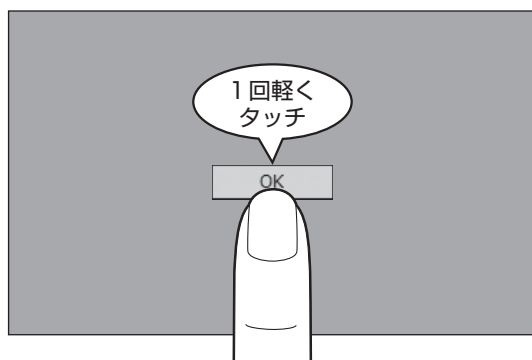
 メモ

- アプリケーションや機能によっては、画面をタッチして操作できない場合があります。

■ タップ

目的のアイコンやボタンなどを1回軽くタッチします。

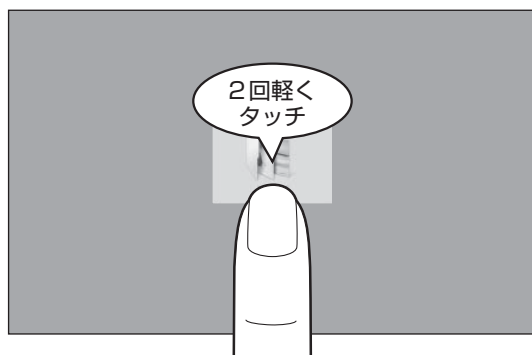
ボタンの操作、アプリケーションの起動、文字の入力などが行えます。



■ ダブルタップ

目的のアイコンなどを2回軽くタッチします。

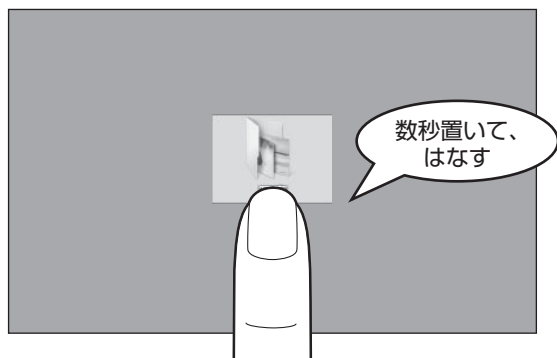
アプリケーションの起動などが行えます。



■長押し（ロングタップ）

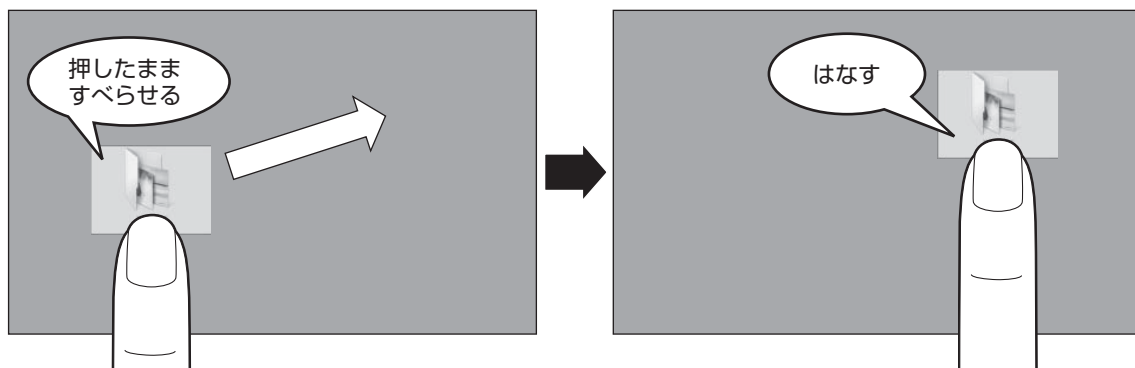
アイコンなどの上に指を数秒置いて、はなします。

触れているアイコンに対して、メニューなどが表示されます。



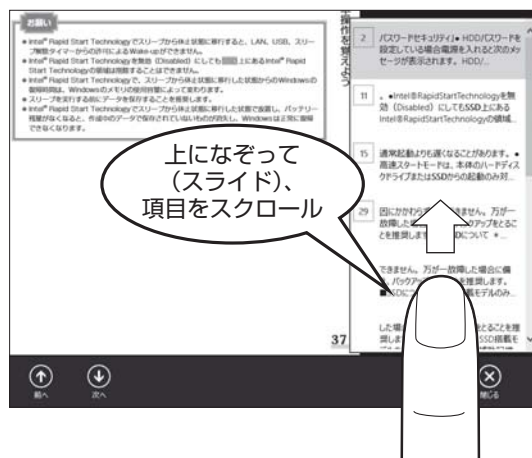
■ドラッグ

アイコンなどの上に指を置き、移動したい場所まですべさせます。



■スワイプ、スライド

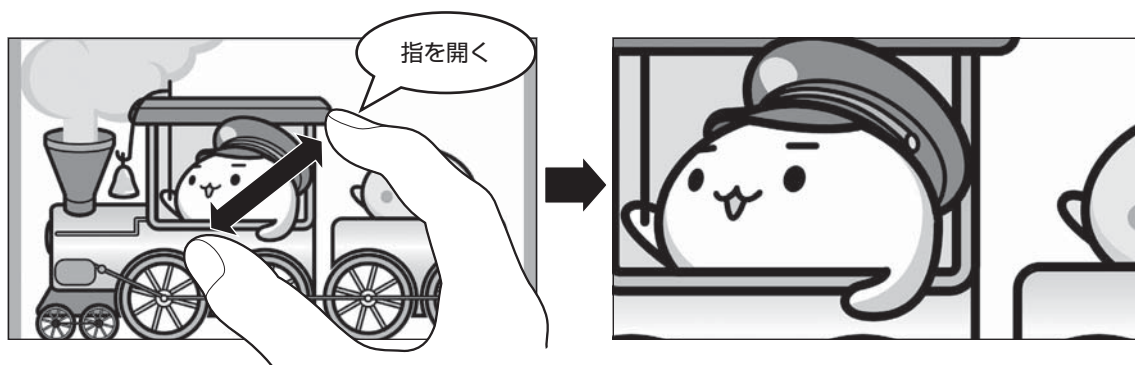
画面に指を置き、画面を軽くはらうように動かしたり（スワイプ）、なぞったり（スライド）します。画面を左右に切り替えたり、画面に表示しきれない一覧をスクロールする場合などに行います。



■ピンチアウト、ピンチイン

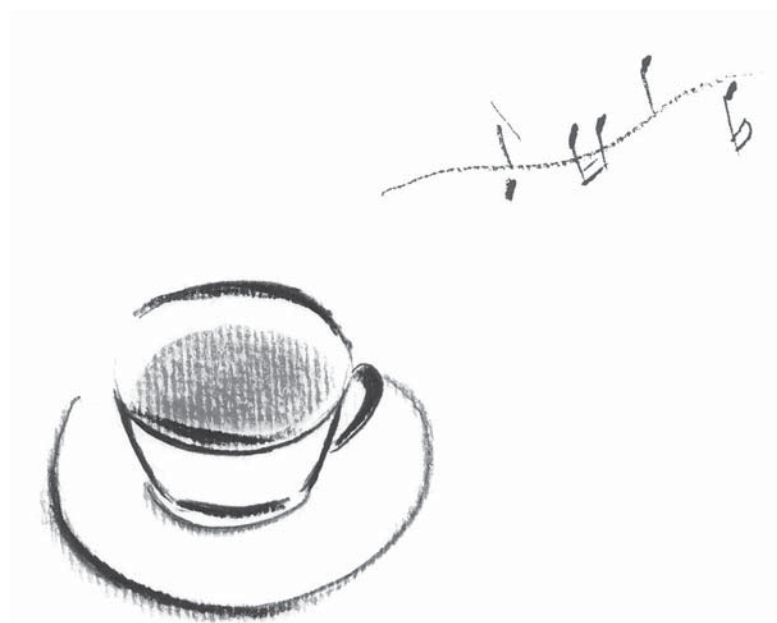
画面に指を2本置き、指を開いたり閉じたりすることで、画面に表示している内容や、画像の表示サイズを変更できます。

指を開く（ピンチアウトする）と拡大され、閉じる（ピンチインする）と縮小されます。



メモ

- ダブルタップを行っても、画面に表示している内容などを拡大／縮小できます。





付録

本製品の機能を使用するにあたって知っておいていただきたいことなどについて説明しています。

1	ご使用にあたってのお願い	58
---	--------------------	----

本書で説明している機能をご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。搭載されている機能やアプリケーションは、ご購入のモデルにより異なります。

ご購入のモデルの仕様については、『****（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

1 パソコン本体について

スイッチ／ボタンの操作にあたって

- スイッチ／ボタンを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。スイッチ／ボタンが故障するおそれがあります。

機器への強い衝撃や外圧について

- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- パソコンの表面を硬いものでこすると傷がつくことがあります。取り扱いにはご注意ください。

タッチパッドの操作にあたって

- タッチパッドを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。タッチパッドが故障するおそれがあります。

画面のタッチ操作にあたって

- 画面をタッチするときは、強く押さないでください。
- 画面は指または付属のペンで操作してください。先のとがったものや硬いもの（つめ、鉛筆、ボールペンなど）で画面をタッチしたり押さえつけたりしないでください。画面を傷つけるおそれがあります。
- 画面に保護フィルムを貼らないでください。
保護フィルムを貼ると、タッチ操作が正しく行われずおそれがあります。

ペンの操作にあたって

- 指紋などで画面が汚れていると、ペンの反応が悪くなるおそれがあります。
このような場合は、付属のクリーナークロスで画面をふいてご使用ください。
画面をふくときには、強い力を加えないでください。
- 画面に保護フィルムを貼らないでください。
保護フィルムを貼ると、ペンの反応が悪くなるおそれがあります。

クリーナークロスについて

- クリーナークロスには、次の用途があります。
 - ・ ディスプレイ画面や指紋センサーが汚れたときの、画面やセンサーのふき取り（ディスプレイ画面や指紋センサー以外のものをふかないでください。）
 - ・ ディスプレイを閉じた際に、画面に傷や汚れがつくのを防ぐ
 - ・ パソコンを持ち運ぶ際、軽い衝撃などからのディスプレイ保護
- ディスプレイ画面が汚れたときは、クリーナークロスで汚れをふき取ります。ディスプレイには無理な力を加えず、軽くふき取ってください。クリーナークロスはきれいな状態でご使用ください。汚れた状態・ぬれた状態では使用しないでください。
水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤などは使用しないでください。
- ディスプレイを閉じたり、持ち運びの際には、次のように使用してください。
（キーボード部分が取りはずせるモデルの場合に、キーボードを取り付けて持ち運ぶ際には、ノートPCスタイルにしてから次のように使用してください。）
 - ① パソコンの電源を切る
 - ② クリーナークロスをキーボード上に敷く
クリーナークロスに折れがないように敷いてください。
 - ③ ディスプレイを静かに閉じる

2 バックアップについて

バックアップをとるにあたって

- ユーザー名がリカバリー後と異なる場合、バックアップしたデータが復元できない場合があります。リカバリーをする前にユーザー名を控えてください。
参照 ▶ リカバリーについて『困ったときは』
- ハードディスクや記録メディアに保存しているデータは、万が一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて定期的にバックアップをとって保存してください。
ハードディスクや記録メディアに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いません。

3 「PC引越ナビ」について

□ 前のパソコンの動作環境について

- すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。

□ 操作にあたって

- 「PC引越ナビ」のヘルプで、注意制限事項を確認してください。
- 「PC引越ナビ」をご利用の際は、前のパソコンおよび新しいパソコンで、電源コードとACアダプターを接続した状態で、ご利用ください。
また、「PC引越ナビ」の実行中は、スリープまたは休止状態にしないでください。
- こん包プログラムが作成するこん包ファイルを分割する場合、分割するこん包ファイルの大きさは、最大2GBとなります。
- 「PC引越ナビ」がこん包ファイルで同時に移行できるファイル数は、最大2,147,483,647ファイルです。
- こん包プログラムからこん包ファイルを作成するには、作成する予定のこん包ファイルの大きさ以上の空き容量が、保存先の装置に必要です。